

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	1094
-----------	-----------	------

事務事業名	バイオマスタウン構想推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
産業部	産業政策室	朝野 陽助	63-7623
新・継	事業期間	根拠法令等	
新規	平成 22 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	1	都市産業
	小施策	3	新産業の創造・育成
重点施策コード	4-2.資源循環型社会の構築(バイオマスタウン構想の推進)		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	304501
一般会計	(中事業名)	
款	農林水産業費	バイオマスタウン構想推進事業
項	農業費	(小事業名)
目	農業総務費	バイオマスタウン構想推進事業

3. 事務事業の概要

事業概要	
資源循環型社会の実現と産業振興ビジョンにおける「環境産業創造プラン」の推進を図るため、策定されたバイオマスタウン構想を推進し、地域バイオマス資源の積極的な活用を行う。 このための民間における事業実施に対する補助金支出や、バイオマスタウン構想推進協議会の運営を行う。	

めざす効果(事業目的)
バイオマスタウン構想の推進により、資源循環型社会の実現に向けて地域バイオマス資源が有効活用され、廃棄物の減量化にも寄与する。 また、バイオマス活用による新産業の創造により、地域経済への波及効果が期待される。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] (平成22年度新規事業)	・バイオマスタウン構想推進協議会(年7回程度開催) ・協議会の開催にかかる委員報償費(455千円) ・バイオマス構想推進業務委託:650千円 ・木質マテリアル利用促進業務委託:700千円 ・生ごみ堆肥化技術試験業務委託:3,614千円 ・推進協議会運営に係る旅費、消耗品費等:95千円	補助金・交付金	その他 ()	
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
			事業の推進 (事業費等については、協議会の決定に基づく。)	事業の推進 (事業費等については、協議会の決定に基づく。)	事業の推進 (事業費等については、協議会の決定に基づく。)
事業費 (千円)		5514			
の 財 源 内 訳	国庫支出金	2757			
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源		2757			
人工数	職員(人)	0.27			
	臨時職員等(人)				
人件費 (千円)		1,971			
総費用 + (千円)		7,485			

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	バイオマスの利活用に取り組む事業者・団体数 (カット内は延べ値)	-	1	1(2)	1(3)	1(4)
	実績		-	1.0			
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業者関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか 実践していないが、今後可能性がある(へ) ▼	協働等の主な相手先について 事業者(へ) ▼
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 補助・助成(へ) ▼	協働等の今後の取組について 今後、取組予定 ▼

	備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である ▼	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(拡大)(今後の展開方法 (1)・(2)へ) ▼	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など 一部事務作業等を外部委託して事務の効率化につなげている。	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 平成23年度には一部のハード事業の事業化を進め、推進協議会の主体を民間事業者が努める。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	1082	(H.22)No.	1095
-----------	------	-----------	------

事務事業名	草木類リサイクル事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
産業部	産業政策室	朝野 陽助	63-7623
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 21 年度 ~ 平成 23 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2	循環型社会の創造
	施策	2	ごみの減量化とリサイクル
	小施策	2	リサイクル
重点施策コード 4-1.資源循環型社会の構築(廃棄物の減量・資源化の推進)			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	305001
一般会計	(中事業名)	
款 農林水産業費	ふるさと雇用再生特別基金事業	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業総務費	草木類リサイクル事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>シルバー人材センターが行う事業や、各地域における住民組織から発生する草木ごみの処理を行う必要性が年々高まる中、シルバー人材センターにこれらの破碎作業を委託することにより、草木類のチップ化・堆肥化など循環型社会の仕組みづくりにつなげる。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>草木類を破碎することで、それ自体の減量化につながるるとともに、堆肥化などを行うことにより資源のリサイクルを図ることができる。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)				
			市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	補助金・交付金	その他 ()			
主な事業の実績・計画	・取扱量 草 500t 剪定枝 300t 合計 800t ・草木類リサイクル委託:委託料7,140千円	・取扱量 草 500t 剪定枝 300t 合計 800t ・草木類リサイクル委託:委託料9,976千円	22年度に同じ				
事業費 (千円)	7140	9976	9,976				
の 財 源 内 訳	国庫支出金						
	県支出金	6853	9976	9,976			
	地方債						
	その他(諸収入)	287					
一般財源							
人工数	職員(人) 0.37	0.09	0.09				
	臨時職員等(人)						
人件費 (千円)	2,701	657	657				
総費用 + (千円)	9,841	10,633	10,633				

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	市内で発生する廃棄物が適正に処理されていると感じている市民の割合	-	-	-	-	72.0
	実績		69.4	71.8			
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	平成21年度においては目標を達成できなかった。 今後は実施手法の検討により、受入れ量を増やす等、目標達成に向けて努力する。						

6. 事業を取り巻く環境

<p>事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)</p>	<p>市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見</p> <p>引き取り日(引き受け日)の拡大(第3日曜日だけ)では搬入しきれない。 22年度より第3日曜日とその前土曜日も終日引き受け可能とした。</p>
---	---

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1)協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄
協働等は実践していますか 実践している(^)	協働等の主な相手先について 事業者(^)	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託 [業務量の50%以上相当] (^)	協働等の今後の取組について 継続実施	
(2)現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。		
(3)事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4)新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である		
(5)その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

<p>総合評価(事業の展開方法) 継続(現行どおり)(理由 (2)へ)</p>	特記事項
(1)短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2)継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など ふるさと雇用再生特別基金事業を活用しており、平成23年度完了予定。 24年度以降はバイオスタウン構想による施設開設により実行予定。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	1096
-----------	-----------	------

事務事業名	測量成果情報整備事業(緊急雇用創出事業)		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
産業部	産業政策室	朝野 陽助	63-7623
新・継	事業期間	根拠法令等	
新規	平成 22 年度 ~ 平成 22 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	1	土地利用
	小施策	1	計画的な土地利用
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	301301
一般会計	(中事業名)	
款	農林水産業費	測量成果情報整備事業(緊急雇用創出事業)
項	農業費	(小事業名)
目	国土調査費	測量成果情報整備事業(緊急雇用創出事業)

3. 事務事業の概要

事業概要
地積成果管理システムを活用し、地籍調査成果をはじめ市役所内の公共測量成果や民間測量成果など、世界測地系による高精度の測量成果の電子化を行うことで電子地図データの整備を行う。

めざす効果(事業目的)
緊急雇用創出事業を活用して、高精度の測量成果情報を電子化することで地理情報システムの高度利用と地籍調査事業の効率化を図る。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] (平成22年度新規事業)	[事業内容(事業量)・事業費] ・法務局備付の世界測地系地積測量図の電子化 ・地籍調査成果の随時更新 ・臨時職員1名採用 賃金:1,575千円	補助金・交付金	その他 ()	
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
事業費 (千円)		1827			
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金		1827		
	地方債				
	その他() 一般財源				
人工 数	職員(人)		0.22		
	臨時職員等(人)		1.00		
人件費 (千円)		1,606			
総費用 + (千円)		3,433			

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	%	-	-	-	-	50.0
	実績		47.5	49.0			
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1)協働の取組(「新しい公」の推進)		
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施	
		備考欄
(2)現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。		
(3)事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4)新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である		
(5)その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 平成22年度事業完了	特記事項
(1)短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2)継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	1086	(H.22)No.	1097
-----------	------	-----------	------

事務事業名	地籍調査事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
産業部	産業政策室	朝野 陽助	63-7623
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 15 年度 ~ 平成 年度	国土調査法	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施 策	1	土地利用
	小 施 策	1	計画的な土地利用
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	301002
一般会計	(中事業名)	
款 農林水産業費	地籍調査事業	
項 農業費	(小事業名)	
目 国土調査費	地籍調査事業	

3. 事務事業の概要

事業概要
国土調査法に基づく地籍調査事業を実施し、地籍の明確化を図る。

めざす効果(事業目的)
地籍調査事業の実施により、地籍の明確化を図ることで、土地取引の円滑化、災害復旧の迅速化、公共事業の円滑化等に寄与する。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	地籍調査業務委託 ・上比奈知(A=0.30km ²) 地 図・簿冊作成工程 ・夏秋(A=0.08km ²) 地図・簿 冊作成工程 ・鶴山(A=0.21km ²) 立会・測 量・求積工程 委託料:5,152千円	地籍調査業務委託 ・上比奈知(A=0.30km ²) 閲 覧及び誤り訂正工程 ・夏秋(A=0.08km ²) 閲覧及 び誤り訂正工程 ・鶴山(A=0.21km ²) 地図・簿 冊作成・閲覧工程 委託料:500千円	補助金・交付金	その他 ()	
事業費 (千円)	6171	670	平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
の			事業の推進 (事業費について は、対象地区の 状況により決 定。)	事業の推進 (事業費について は、対象地区の 状況により決 定。)	事業の推進 (事業費について は、対象地区の 状況により決 定。)
財					
源					
内					
訳					
一般財源	1629	207			
人工					
数					
職員(人)	0.57	0.52			
臨時職員等(人)	0.15	0.60			
人件費 (千円)	4,416	4,816			
総費用 + (千円)	10,587	5,486			

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	%	-	-	-	-	50.0
	実績		47.5	49.0			
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

<p style="text-align: center;">事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)</p> <p>平成21年3月に国土調査促進特別措置法が改正され、第6次国土調査十箇年計画が平成22年度からスタートした。この中で地籍調査の更なる推進を図ることが求められ、特に市街地部における地籍調査については早急に完了することが求められることとなった。</p>	<p style="text-align: center;">市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見</p> <p>・市内には公図が不正確な箇所が多数あり、そのために経済活動や市民生活に大きな支障が生じている。早急に全市的に地籍調査を進めてほしい。</p>
---	--

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄
協働等は実践していますか 実践している(へ) ▼	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等(へ) ▼	(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼ (3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼ (4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼ (5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 事業協力(へ) ▼	協働等の今後の取組について 継続実施 ▼	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

<p>総合評価(事業の展開方法) 継続(拡大)(今後の展開方法 (1)・(2)へ) ▼</p> <p>(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など 国のモデル事業や支援制度などを積極的に活用し、可能な限り費用負担を低減して事業推進を図る。</p> <p>(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 10年程度の事業計画策定による計画的な事業実施により、効率的・効果的な事業の展開を図る。</p>	<p style="text-align: center;">特記事項</p>
--	---

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	1102
-----------	-----------	------

事務事業名	障害者アグリ雇用推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
産業部	産業政策室	朝野 陽助	63-7623
新・継	事業期間	根拠法令等	
新規	平成 22 年度 ~ 平成 23 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	5	雇用
	小施策	1	就業機会の確保
重点施策コード 1-5.高齢者・障害者福祉の推進(障害者福祉の充実)			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	302302
一般会計	(中事業名)	
款 農林水産業費	ふるさと雇用再生特別基金事業	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業振興費	障害者アグリ雇用推進事業	

3. 事務事業の概要

事業概要
農業分野における障害者就労を推進するため、名張市障害者アグリ雇用推進協議会において農業ジョブトレーナーの要請や農業就労体験、研修会等の必要な取組を行う。

めざす効果(事業目的)
農業関係者及び障害者を含む福祉関係者相互の理解を深め、障害者の農業就労を推進することにより、障害者の自立を促進し、また障害者の心身の健康や機能回復を図り生活の向上を目指す。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画 (平成22年度新規事業)	[事業内容(事業量)・事業費] (平成22年度新規事業)	[事業内容(事業量)・事業費] ・障害者アグリ雇用推進協議会に委託して障害者人材センターの機能強化を図る:委託料6,336千円(9か月分)	補助金・交付金		
			その他 ()		
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
事業費 (千円)		6336	8,448		
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金	6336	8,448		
	地方債				
	その他() 一般財源				
人工 数	職員(人)	0.11	0.11		
	臨時職員等(人)	0.40	0.40		
人件費 (千円)		1,483	1,483		
総費用 + (千円)		7,819	9,931		

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名			単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	働く意欲のある人にいきいきと働ける場が確保されていると思う市民の割合	%	-	-	-	-	19.0
	実績			17.3	18.9			
	目標							
	実績							
考察及び今後の対応方針								

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		
協働等は実践していますか 実践している(^)	協働等の主な相手先について その他団体(^)	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託 [業務量の50%以上相当] (^)	協働等の今後の取組について 今後、取組予定	
		備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行どおり)(理由 (2)へ)	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など ふるさと雇用再生特別基金事業を活用しており、平成23年度事業完了予定。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	1109
-----------	-----------	------

事務事業名	地域産業振興ビジョン推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
産業部	産業政策室	朝野 陽助	63-7623
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 21 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	1	都市産業
	小施策	3	新産業の創造・育成
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	360201
一般会計	(中事業名)	
款 商工費	産業振興ビジョン推進事業	
項 商工費	(小事業名)	
目 商工総務費	地域産業振興ビジョン推進事業	

3. 事務事業の概要

事業概要
名張市産業振興ビジョンを推進するため、各リーディングプランの実践組織の設立と実施計画の策定、同ビジョンに基づく取組を行う。

めざす効果(事業目的)
産業振興ビジョンの推進を図ることにより、地域経済の活性化が図られる。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画		・各実践組織の設立と実施計画の策定: 報償費 400千円	補助金・交付金	その他 ()	
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
			・各実践組織による取組支援	・各実践組織による取組支援	・各実践組織による取組支援
事業費 (千円)		483	500	500	500
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源		483	500	500	500
人工数	職員(人)	0.12	0.11	0.11	0.11
	臨時職員等(人)				
人件費 (千円)	876	803	803	803	803
総費用 + (千円)	876	1,286	1,303	1,303	1,303

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	市内総生産	億円	-	-	-	-
	実績			2464.0	2464.0		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していないが、今後可能性がある(へ) ▼	協働等の主な相手先について その他団体(へ) ▼
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 実行委員会・協議会設置(へ) ▼	協働等の今後の取組について 今後、取組予定 ▼
	備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。 ▼	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行どおり)(理由 (2)へ) ▼	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 平成21年度は実践組織設立のための連絡調整のみ。平成22年度は実践組織を設立し、具体的な協議を進める。	